

野洲川だより

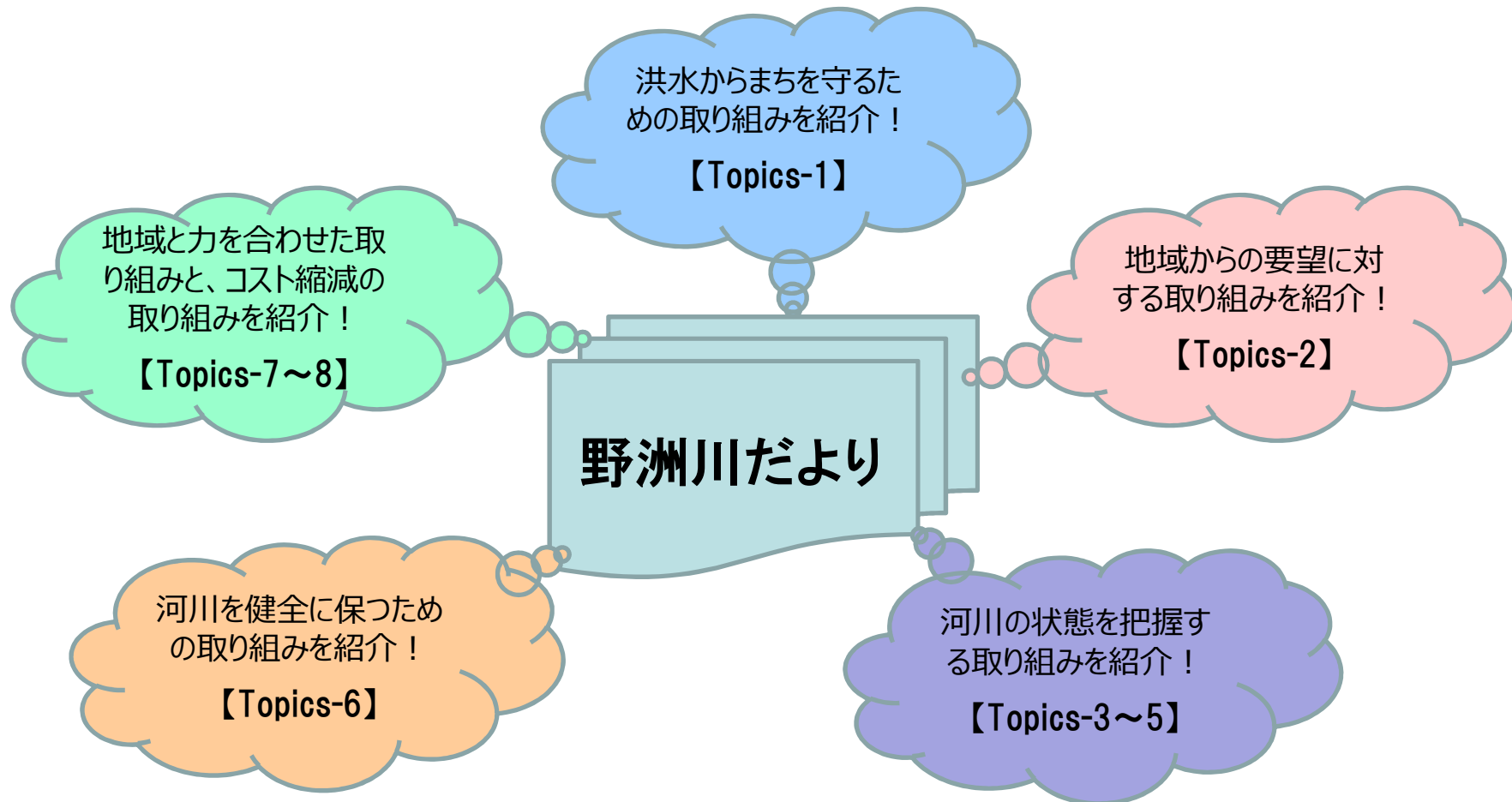
～Report of YASU river 2017～



治水、予算節約、美化、刈草などの有効活用・・・地域とともに

野洲川だより(H29野洲川河川管理レポート)とは・・・

『野洲川だより』では、野洲川の沿川のみなさまに、いまの野洲川の状態を知ってもらい、琵琶湖河川事務所が取り組んでいる河川管理をわかりやすくお伝えしていきます。



野洲川では、浸水被害の低減につながる排水水門を管理しています。

- 平成29年度は、台風21号(10月)等による増水がありました。
- 野洲川において、琵琶湖河川事務所が管理している（排・取）水門は、矢田樋門と前田樋門があります。
- H29年度は、前田樋門で1回稼働しました。
- 今後、洪水時に樋門の適切な操作が行えて、浸水被害ゼロが達成できるようにするための活動に取り組んでいきます。



▲ 矢田樋門



▲ 前田樋門

量水標について

野洲川には、洪水時に水位がどれくらい危険な高さまで上昇しているかを示す量水標が設置されています。



▲ 名神高速道路下流の量水標

▽はん濫危険水位	はん濫危険	【はん濫危険水位】 ・市長村長の避難勧告等の発令判断の目安 ・住民の避難判断の参考になる水位
▽避難判断水位	避難判断	【避難判断水位】 ・市町村長の避難準備情報等の発令判断の目安 ・住民のはん濫に関する情報への注意喚起
▽はん濫注意水位	はん濫注意	【はん濫注意水位】 ・水防団の出動の目安

【Topics-2】 地域からの要望についての取り組み

【H29野洲川河川管理レポート】

洪水の流下を阻害している河道内樹木を、要望を踏まえながら計画的に伐採しています。

- 平成20年度より河口付近から樹木の伐採を開始し、平成28年度には上流端までの伐採が概ね一巡しました。
- 平成27年度から民間活力を生かした公募伐採を実施しており、平成29年度は8名の方が作業をされています。
- 平成30年度以降は、新たな樹木伐採計画を策定して樹木伐採を実施していく予定です。



【Topics-3】 パトロールで堤防の変状等を診ています

【H29野洲川河川管理レポート】

巡視員 2 人によって、週 2 巡の頻度でパトロールを実施しています。

- 河川巡視は、河川区域等における違法行為の発見、河川内の環境や利用に関する情報収集等を目的に実施しています。
- 平成29年度は、河川管理施設等の維持状況の確認が280件と最も多く、次に河川区域等における違法行為の発見が多く見られました。



不法投棄が多発しています

野洲川では、不法投棄が多く、家庭ゴミから自転車まで様々なゴミが河川敷に捨てられています。

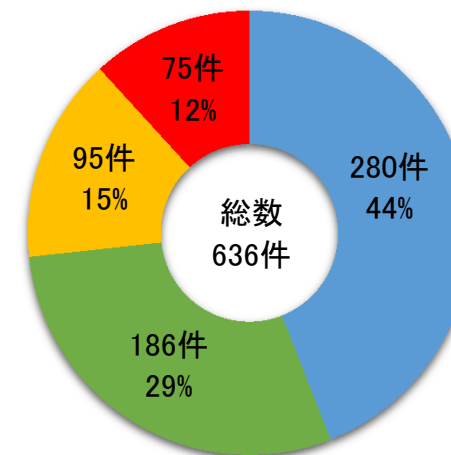
不法投棄は河川の美観を損ねるだけでなく、流水や土壌の汚染、生態系への悪影響、悪臭や蚊・ハエなど害虫の発生の原因となりますので、皆様も不法投棄の防止にご協力をお願いします。

琵琶湖河川事務所では、引きつづき警察と協力して不法投棄対策を進めていきます。



▲ 野洲川に捨てられたゴミ

巡視項目	(H29)巡視記録数
① 河川管理施設等の維持状況の確認	280件
② 河川区域等における違法行為の発見	186件
③ 河川利用に関する情報収集	95件
④ 河川環境に関する情報整理	75件
総数	563件



- 河川管理施設等の維持状況の確認
- 河川区域内における違法行為の発見
- 河川利用に関する情報収集
- 河川環境に関する情報整理

全ての河川管理施設を定期的に点検し、機能の維持に努めています。

堤防・護岸の点検

- 堤防や護岸の点検を実施するとともに、異状・変状等の有無を把握しています。

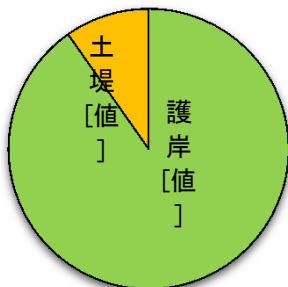


▲堤防点検の様子

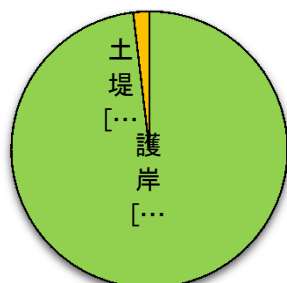


▲護岸点検の様子

- 点検の結果、野洲川では135箇所の変状が確認されました。今後は堤防に影響を与える変状箇所を特定し、必要に応じて対策を実施して行きます。



(野洲川左岸)



(野洲川右岸)

樋門、機械設備等の点検

- 堤防や護岸のほかにも、出水期を迎えるにあたり、樋門や機械設備等について、ゲート等の動作確認や設備に異常がないかなどの点検を実施しています。

- 樋門：2施設
- 監視カメラ：28施設
- 水位・雨量の観測施設：11施設



樋門の作動確認



樋門電気設備の点検



樋門機械設備の点検



監視カメラの点検

※ 出水期：雨により川が増水しやすい時期のこと。(6月16日～10月15日)

野洲川を利用するみなさまの安全を守るために、点検を行っています。

● 施設の点検と補修

野洲川を訪れて利用される方々が、安全に楽しんでもいただくため、河川施設に危険箇所がないか、注意喚起が必要な箇所がないかを確認する安全利用点検を行っています。点検した箇所で補修等の必要があれば応急的に処置し、順次対策を行っています。

● 堤防の除草

堤防や護岸などの構造物の状態を外観的に目視確認できるよう、堤防等の除草実施しています

● 水難事故防止対策

野洲川の落差工では、遊泳や飛び込みが多数見られることから、水難事故防止ポスターの配布、立入禁止看板の設置、河川巡視員による注意喚起を実施しています。



▲安全利用点検の様子



▲除草状況



巡視員による注意喚起状況



注意喚起看板設置状況



安全利用点検状況



▲平成29年度の安全利用点検結果

▲水難事故防止対策状況

各施設の機能が発揮できるよう、不具合箇所の補修・改善を行っています。

根固めブロックの設置

- 野洲川では河岸の侵食により低水護岸が崩壊しました。現在応急復旧をおこなっております出水期までに完了する予定です。



対策前



対策中



対策後

堆積物の撤去

- 河川管理に必要な水位観測所付近の堆積物を除去しました。



対策前



対策後

管理用通路に車止めを設置

- 不用意に河川管理用通路を通行する車両に対し進入禁止を促すバリケードを設置しました。



対策前



対策後

豊かな自然を守る取り組みや、環境への関心や興味を育むイベントを開催しています。

水生生物調査・水質調査イベント

- 名神高速道路の野洲川下流付近で、近隣の中学生に参加していただき、水生生物調査や水質調査等を実施しました。

- 実施日時：平成29年7月25日(火)・8月2日(水)
- 参加人数：合計35名(一般の方や引率教員を含む)
- 水質階級(I～IV)：【I】(きれいな水)



▲会場の様子



▲水生生物の採集



▲採集した水生生物



▲水難事故防止講習

- 川の大切さや豊かな自然を守ることに、関心を高めていただけるような活動を継続していきます。

琵琶湖河川レンジャーとの連携活動

- 琵琶湖河川レンジャーは、住民と行政が連携・協働して川づくりに取り組むための橋渡し役として活動しています。
- 平成29年度は、近隣の中学生と行政が連携しヨシ帯調査を継続できる体制づくりの支援や、地元の子供たちに野洲川をフィールドとした川遊びなどを伝える活動を通して、住民に河川への関心を高める活動を支援しました。



「地元中学生と連携したヨシ帯調査」の活動状況



「なかつ野洲川たんけん隊」の活動状況



【Topics-8】 コスト縮減の取り組み

【H29野洲川河川管理レポート】

堤防除草で発生する刈草を堆肥化することによりコスト縮減を図っています。

- 野洲川では、堤防の異常・変状等を把握するために、除草を年2回実施しています。
- 従来、発生した刈草は有料処分していましたが、平成13年度より、資源の有効活用、処分費用の縮減等を目的に刈草の堆肥化に取り組んでいます。
堆肥は約520m³、延べ466人の方に配布しました。
- 堆肥は、無償で配布しています。詳しくは、下記HPをご覧ください。

【琵琶湖河川事務所HP】

<http://www.kkr.mlit.go.jp/biwako/others/recycle/index.html>



■所在地・連絡先

●国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所

〒520-2279 滋賀県大津市黒津4丁目5-1

TEL. 077-546-0844

●野洲川出張所

〒520-0021 滋賀県守山市吉身3丁目7-2

TEL. 077-582-3279

河川名	区間	延長	告示の番号及び年月日
野洲川	左岸： 湖南市石部北四丁目2193番地先	から 13.8km	建設省告示第901号 昭和40年3月29日 建設省告示第563号 昭和49年4月11日 建設省告示第959号 昭和61年4月5日
	右岸： 湖南市菩提寺字平尾2111番9地先		
	琵琶湖への流入点	まで	

流域図

